

春木川ウォーキングロードの整備を



石川道弘 議員

【議員】春木川を境川緑地まで整備しては。

【経済建設部長】ウォーキングロードはトレーニングジムと併用すると健康に役立つ。境川緑地といこまい館のトレーニングジムを有機的に連結するには、春木川は幅が1.5〜2mと狭く、夜間の照明がないなど安全面に問題はある。立地的には優れており、春木川ウォーキングロードの整備プランをたて実施計画に計上をと考えている。

【議員】ウォーキングコースの距離ポスト設置は。

【経済建設部長】利用者の増加と費用対効果の高いものは設置を検討する。

LED(発光ダイオード)の積極的な導入を

【議員】防犯灯をLED灯に交換してはどうか。

【総務部長】LED防犯灯は明るく玉切れがないことから、公共施設の導入を調査していた。業者

に確認したところ、40VA用自動点滅式防犯灯で取り付け費込みで1基10万円程度となる。LED防犯灯は、寿命が4万時間。年間点灯時間を400時間とすると、10年間玉切れ修理が不要であり、10年ごとに機器を交換するだけで済むため維持管理のコストメリットも高い。現在、防犯灯は約2200基あるため、約2億2000万円の初期投資が課題。ランニングコスト面は非常に魅力がある。

【議員】公共施設への導入の考えは。

【総務部長】公共施設への導入は、役場庁舎、ホール、駐車場、街路灯などが考えられる。試験的なLED照明設置を検討し、経費節減を図りたい。

【議員】避難所にソーラーLED灯の利用は。

【総務部長】ソーラーLED照明灯は1基100万円かかる。避難所への導入を検討したい。

町営住宅の設置の検討を



門原武志 議員

【議員】①増加が見込まれる高齢者世帯が安心して暮らせる住宅確保。②安価な住宅の確保。という観点から町営住宅の設置を検討すべきでは。

【企画部長】そのような考えはない。

臨時交付金で子どもたちの安全確保を

【議員】国の平成21年度補正予算に関連して、地域活性化・経済危機対策臨時交付金が東郷町には約940万円交付される。子どもたちの安全確保のため、以下の事に配分を。

- ①園舎の雨漏り、備品の不具合等への対策。
- ②たかね保育園の送迎の駐車スペースの確保。
- ③保育園・児童館・学校のガラス飛散防止フィルム施工の完了。
- ④公園・保育園・児童館・学校の遊具の危険箇所の修理。

【総務部長】そうした事も十分考慮して検討中。

雇用危機への対応

【議員】緊急の雇用創出への取り組みは。

【経済建設部長】4月に2カ月間の臨時職員を募集したが応募はゼロ。雇用期間が短いためと思う。

【議員】雇用期間を長くすべきだったのでは。

【経済建設部長】予算の裏付けが難しくかった。

介護保険認定の新方式の影響は

【議員】4月から実施された要介護認定の新方式では、昨年度までの認定方式よりも要介護度が軽くなる場合がある。東郷町ではどうだったか。

【福祉部長】認定を更新した69件のうち16件が軽くなった。国の経過措置で、希望する人は従来通りの認定が受けられる。

【議員】4月以降に初めて認定を受けた人にも従来方式の認定も試しては。

【福祉部長】そのような考えはない。